

磯のいきもの観察会 ～島のいきものを探そう～ 概要

2021年10月末日

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室

榎田優花

趣旨

豊かなサンゴ礁や砂泥環境が多く残されている奄美大島において、海洋環境教育は島の自然を維持していくために重要な活動です。特に、奄美大島の将来を担う若い世代の地元の海に対する興味・関心は、島のユニークな海洋環境および生物多様性を維持する上で重要です。そこで鹿児島大学国際島嶼教育研究センターでは以下2点を目的とし、本水圏生物観察会の実施を予定しております。

1. 島の次世代を担う若い世代に海とそこに生息する生きものに触れ合う機会を提供する。
2. 奄美大島のサンゴ礁地形やその環境に生きる多様な生きものを直接見て、知ってもらう。

予定する内容

1. サンゴ礁および普遍的にみられるイシサンゴ類について、パネルで紹介。
2. イシサンゴ類以外の磯でみられる海洋生物を参加者とともに見つけ出し、解説および観察をする。
3. 砂浜を歩き、有孔虫等を探しながら、砂を構成する周辺環境との関係を解説。

講師

榎田優花 特任研究員（鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室）

国広潮里 博士（一般財団法人沖縄美ら島財団）

詳細

対象年齢層：奄美大島在住の中学生～高校生、小学4～6年生（保護者同伴可能）

定員：10人

日程：令和3年11月6日(土)、雨天時11月7日(日)

場所：あやまる岬観光公園

行程：

11:30～11:45 受付 あやまる岬ソテツジャングル前集合

11:45～13:30 磯歩き

13:30～13:45 まとめ・現地解散

持ち物

- 濡れてもよい服
- 帽子
- 歩きやすい靴 (マリンシューズ推奨、サンダル・クロックスは不可)
- 両手が空くカバン (リュックサックや斜め掛けカバンなど)
- 飲み物
- 筆記用具とメモ
- マスク